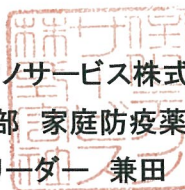


試験成績報告書

D7 泡タイプの ゴキブリ成虫に対する殺虫効果 (直撃噴霧試験)

2021年11月9日

住化テクノサービス株式会社
応用生物部 家庭防疫薬チーム
チームリーダー 兼田 久史



D7 泡タイプのごキブリ成虫に対する殺虫効果
(直撃噴霧試験)

委託元：D7 ジャパン株式会社

試験機関：住化テクノサービス株式会社 応用生物部 家庭防疫薬チーム

〒665-0051 兵庫県宝塚市高司 4 丁目 2 番 1 号

TEL:(0797)74-2090 FAX:(0797)74-2095

試験番号：E21-026-1

試験担当：小山 翔子、犬丸 章博、杉本 周作

試験期間：2021 年 10 月 28 日～2021 年 10 月 29 日

I. 試験目的(依頼事項)

D7 泡タイプのチャバネゴキブリ成虫およびクロゴキブリ成虫に対する殺虫効果を評価する。

II. 材料および方法

1. 供試検体

委託元より提供された D7 泡タイプを検体とした。

2. 供試虫(図 1)

チャバネゴキブリ *Blattella germanica* 成虫

クロゴキブリ *Periplaneta fuliginosa* 成虫

※いずれも住化テクノサービス株式会社累代飼育系統



図 1. 供試虫。左:チャバネゴキブリ成虫、右:クロゴキブリ成虫。

3. 試験方法

チャバネゴキブリ成虫 10 頭(雌雄各 5 頭)およびクロゴキブリ成虫 6 頭(雌雄各 3 頭)を 860B ポリカップ(内壁面にマーガリン塗布)に入れ、直径 80cm の枠内に 3 個ずつ(各 3 反復分)設置した(図 2)。検体を噴霧装置(図 3)に入れ、枠内に約 15 秒間噴霧処理した(図 4、委託元にて実施)。噴霧から 10 分後にすべての供試虫を新しいポリカップに回収し、無処理の供試虫とともに室温約 25 °C 一定、16 時間明期 8 時間暗期条件下にて維持した。

噴霧処理から 10 分後(回収時)および 24 時間後に苦死虫数を記録し、3 反復の結果から以下の式により苦死虫率(%)を算出した。

$$\text{苦死虫率(\%)} = \text{平均苦死虫数} / \text{平均供試虫} \times 100$$

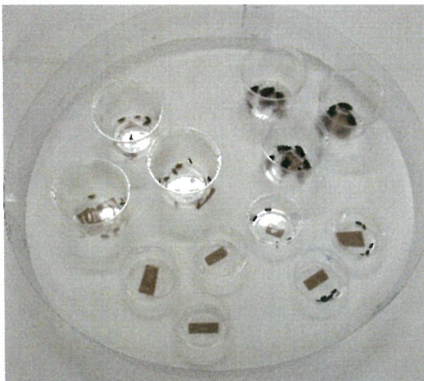


図 2. 枠内(直径 80 cm)に設置した供試虫



図 3. 噴霧装置(委託元にて用意)

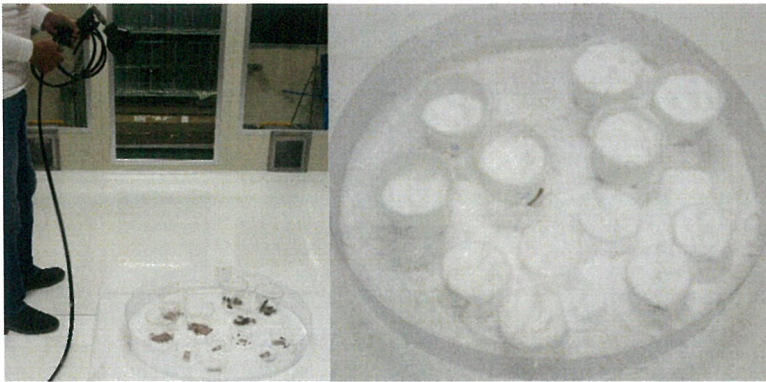


図 4. 試験状況。左：噴霧処理中、右：処理後の供試虫

III. 結果

D7 泡タイプの 2 種ゴキブリ成に対する殺虫効果を表 1 に示す。D7 泡タイプ噴霧処理後 10 分および 24 時間におけるチャバネゴキブリ成虫およびクロゴキブリ成虫の苦死虫率はいずれも 100%であった。

表1. D7泡タイプのチャバネゴキブリおよびクロゴキブリに対する殺虫効力

供試虫	処理区	反復	供試虫数	経過時間- 苦死虫数		苦死虫率(%)	
				10分	24時間	10分	24時間
チャバネゴキブリ <i>B. germanica</i> 成虫 (性比1:1)	D7泡タイプ 処理区	1	10	10	10		
		2	10	10	10	100	100
		3	10	10	10		
	無処理区	1	10	0	0		
		2	10	0	0	0	0
		3	10	0	0		
クロゴキブリ <i>P. fuliginosa</i> 成虫 (性比1:1)	D7泡タイプ 処理区	1	6	6	6		
		2	6	6	6	100	100
		3	6	6	6		
	無処理区	1	6	0	0		
		2	6	0	0	0	0
		3	6	0	0		

試験日：2021年10月28日

方法：カップに入れた供試虫に検体を噴霧処理し10分後に回収、25℃にて24時間後まで維持

苦死虫率(%)= 平均苦死虫数 / 平均供試虫数 ×100

以上